

2021年6月11日  
ジャパンサーチ連携説明会

# ジャパンサーチとの連携

## 東京大学学術資産等 アーカイブズポータルの場合

東京大学情報システム部情報基盤課  
学術情報チーム（デジタル・ライブラリ担当）  
digilib@lib.u-tokyo.ac.jp

東京大学学術資産アーカイブ化推進室  
digital-archive@lib.u-tokyo.ac.jp

松原恵

東京大学農学生命科学図書館所蔵

『群芳圖譜 第1輯第1編』より「かきつばた」

『群芳圖譜 第1輯第3編』より「かうしんばら」「あぢさみ」

を改変

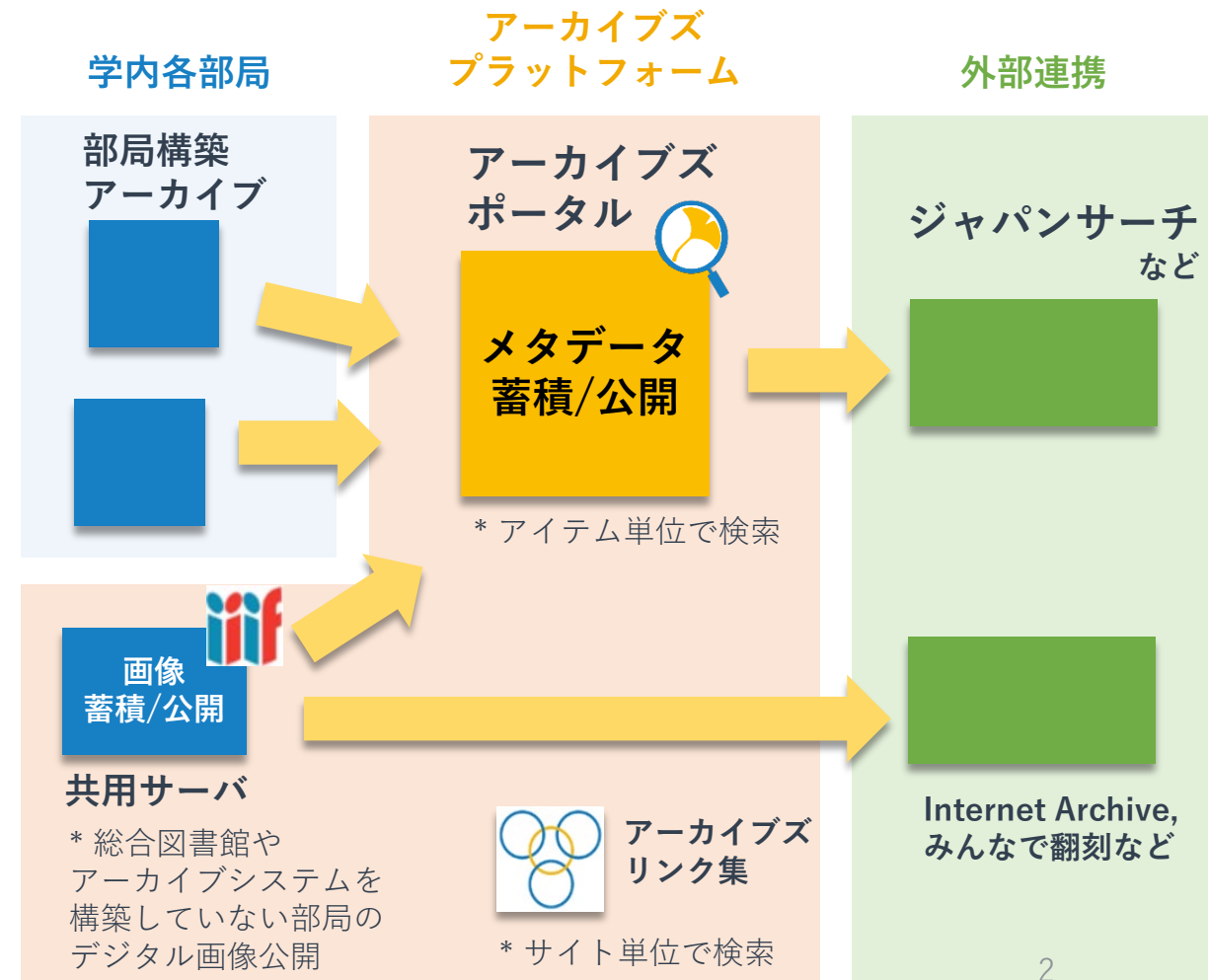
この資料は、[クリエイティブ・コモンズ表示4.0国際ライセンス](https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/)のもとに提供されています。



# 東京大学学術資産等 アーカイブズポータルとは

<https://da.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/portal/>

- 2019年6月公開
- 東京大学デジタルアーカイブズ構築事業において構築
- 学内の各部署が構築したコレクションのメタデータを許諾のもと収集、横断的な検索・提供を可能に
- 東京大学の学術資産等の**データ流通のハブ**として、外部システムとの連携を行う



# 「つなぎ役」となった経緯

## 経緯

- 2019年6月  
アーカイブズポータル公開
- 2019年7月  
ジャパンサーチ連携打診
- 2019年11月  
連携開始

## 学内調整

- 当初より外部連携を想定して  
システム構築
- 方針の策定と部局への説明
  - 事業でのデジタル化予算配分
  - 部局の負担を抑えたフロー設計

### 政策

- ✓ 東京大学ビジョン2020
- ✓ デジタルアーカイブズ構築事業

### 意思決定の 仕組み

- ✓ 学術資産等アーカイブズ委員会  
(大きな方針)
- ✓ 学術資産アーカイブ化推進室  
(実務的なこと)

### プロジェクト 管理

- ✓ 工程表に基づく目標設定と現在地の確認
- ✓ 実務者打ち合わせによるタスク管理

### 人員

- ✓ アーカイブ構築の知見・経験・技術の  
ある教員
- ✓ アーカイブ構築や原本資料に関する  
知識・経験のある図書館員
- ✓ リポジトリやメタデータ設計に関する  
知識・経験のある図書館員

# ジャパンサーチとの連携手続き

## メタデータマッピング

- アーカイブズポータルに登録する時点で**データ構造を統一**
- ジャパンサーチ連携の際には簡易なデータ定義で対応可能

## ライセンス

- 総合図書館は2018年から「CC BY相当」でデジタル画像等をオープン化
- ジャパンサーチとの連携は、各部局が**画像のみならずメタデータも**オープン化する  
きっかけに

## CSV連携

- アーカイブズポータル側でOAI-PMH出力後、独自のプログラムでCSV変換し、登録
- OAI-PMHでの自動連携はマッピングの問題などからできていない

# ジャパンサーチと連携して

## ジャパンサーチの機能の利活用

- SPARQLエンドポイントサービス
  - 連携前：データ利活用のために本学独自に構築
  - 連携後：ジャパンサーチの同サービスを活用
- 電子展示
  - 連携前：電子展示ページを独自に構築
  - 連携後：ジャパンサーチの「ギャラリー」機能を活用試行中

## 所蔵部局にとってのメリット

- アーカイブズポータルと連携するだけで外部連携もできる
- ライセンスについて検討する契機となる

## アクセス数について

# 今後の課題と展望

## 本学の課題

- データの自動連携
- ギャラリー機能など「つかう」機能の活用

## ジャパンサーチへの期待

- どのように「つながり」「つかわれて」いるのか？
  - 活用例まとめページの拡充
  - 統計機能の拡充
- どのように探されているのか？
  - 検索エンジン対策も

